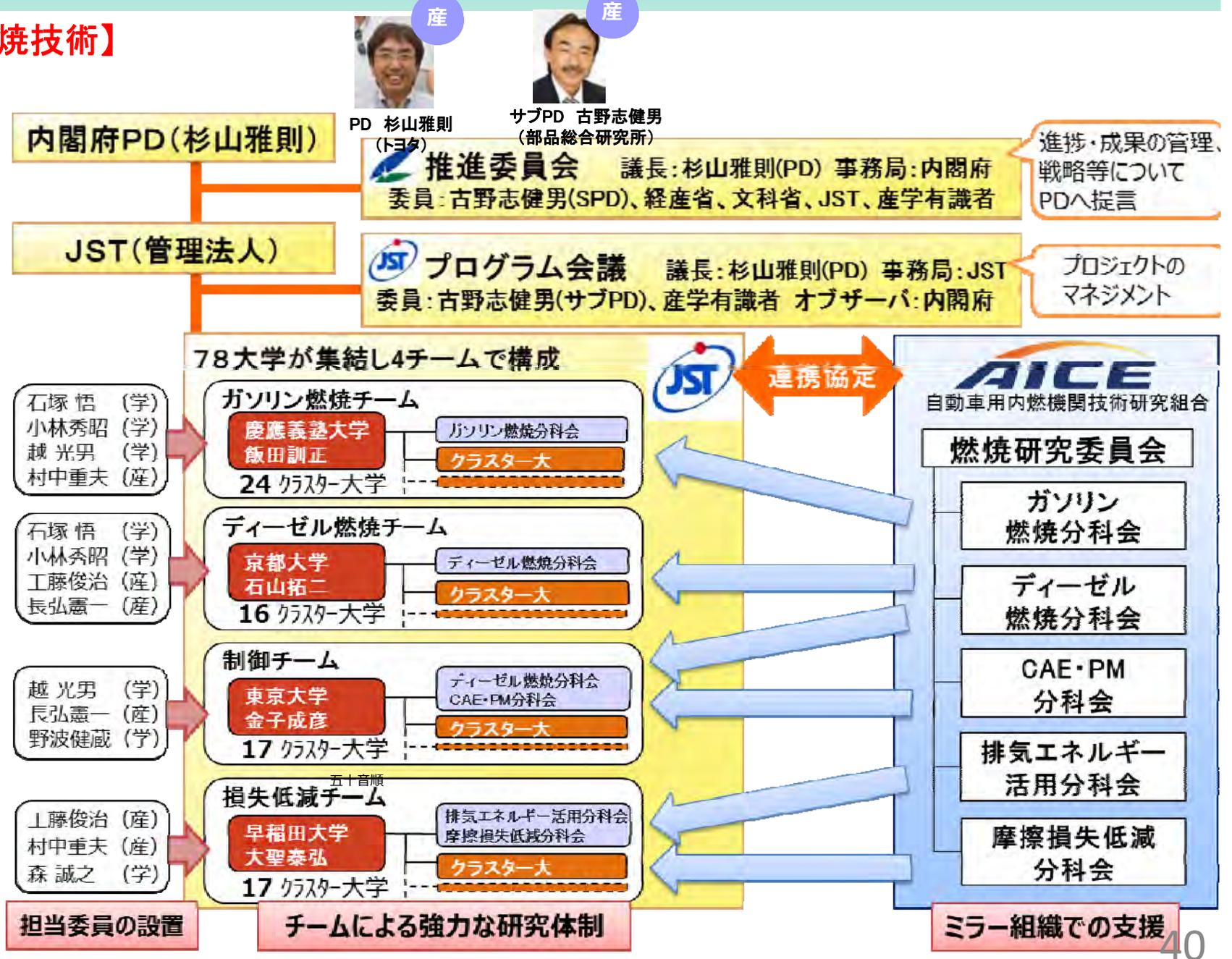


チーム研究推進体制の構築

【革新的燃焼技術】

- 学**
野波健蔵 (千葉大)
- 学**
越光男 (大学評価・学位授与機構)
- 産**
長弘憲一 (元ホンダ)
- 産**
村中重夫 (元日産)
- 学**
小林秀昭 (東北大)
- 産**
工藤俊治 (JST/元トヨタ)
- 学**
森誠之 (岩手大)

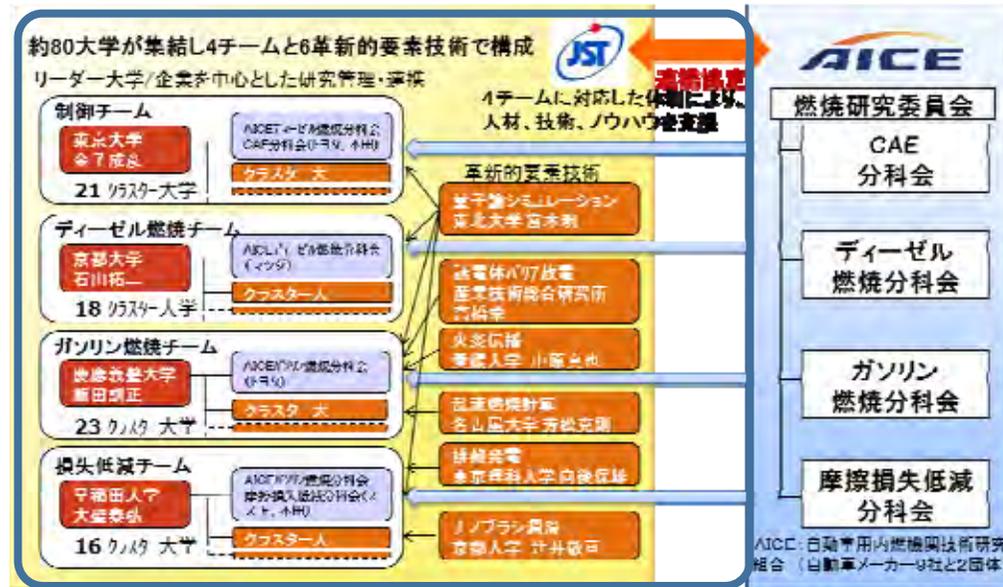


出口に向けた推進体制の強化

【革新的燃焼技術】

従来体制

84大学：燃焼関係の大学研究を広く活性化



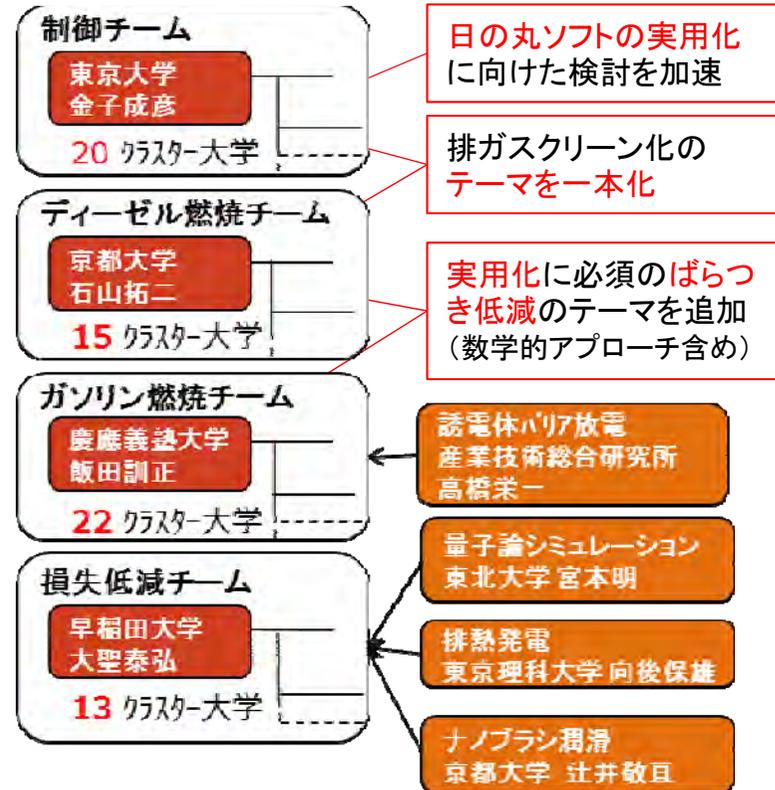
チーム研究体制

ミラー組織での支援

84 74クラスター大学へ
スリム化・実用化加速
(革新的要素技術含む)

チーム研究体制の再編・強化

力の集約とより強い連携で、チーム一丸となって
目標達成、成果のいち早い実用化へ



革新的要素技術9テーマを見極め、4テーマのみ編入

エンジン分野の枠を超えたハイリスクハイリターンな成果の芽

研究拠点(オープンラボ)の構築

【革新的燃焼技術】

サイトビジットでの現場確認

AICEの知見・工夫のシェア

技術職員の配置

損失低減チーム
早稲田大 西早稲田キャンパス

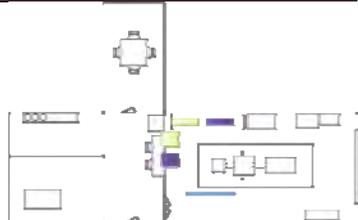


制御チーム
東大 本郷キャンパス



ディーゼル 燃焼チーム
レンタルラボ(京都市・堀場製作所)

HORIBA



ガソリン燃焼チーム
レンタルラボ(横浜市・小野測器)

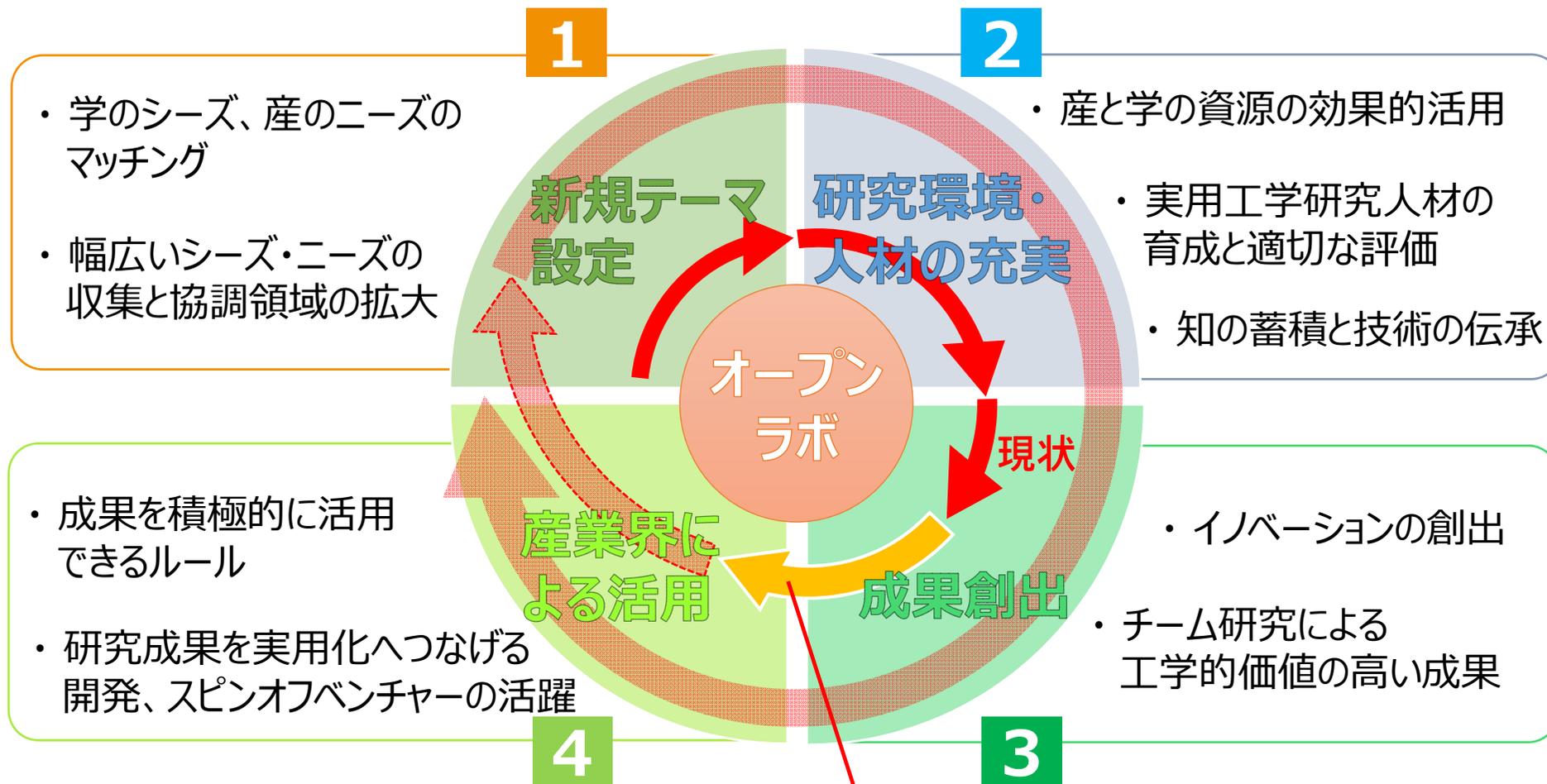
ONO SOKKI



大学やAICEの研究者・技術者が集結(産産学学連携)し、
現地現物で実験・議論を重ねる研究拠点へ。 2016.6プレス発表

産産学学連携のありたい姿

【革新的燃焼技術】



持続的成長の要（今年度目標）

オープンラボを拠点として、産産学学連携のスパイラルアップへ

出口に向けた推進体制の強化



【革新的構造材料】

2015年6月成果報告会を受けた研究体制強化

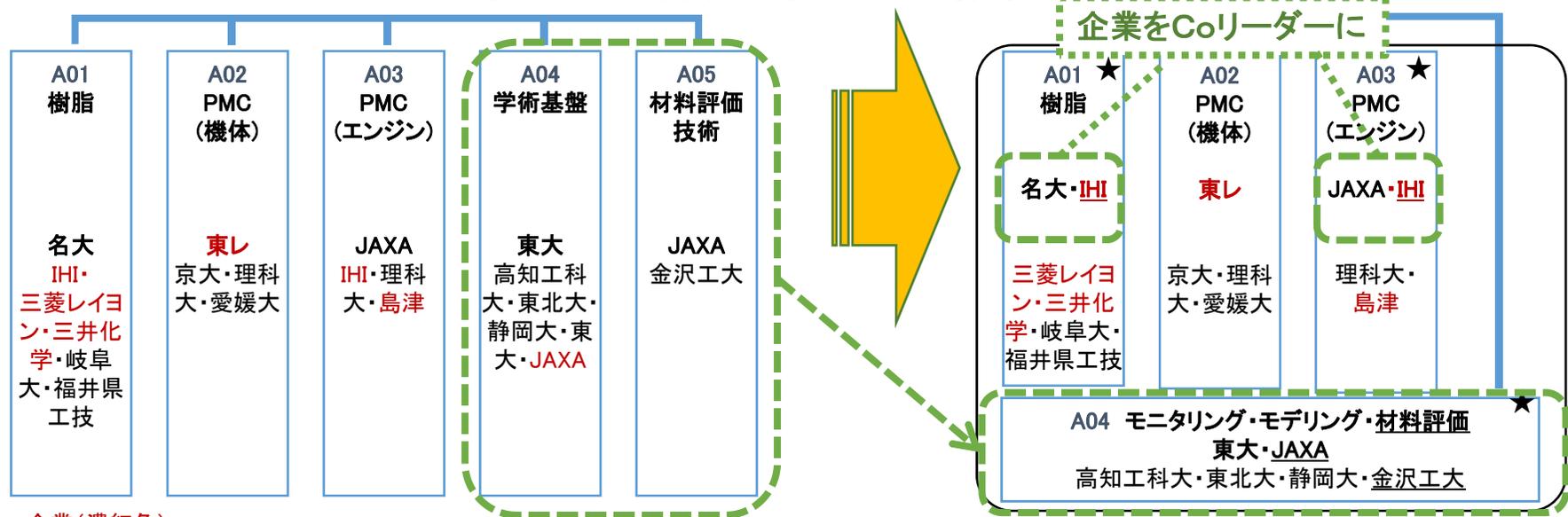
成果報告会概要

- 報告件数 142件: **個別テーマ毎に開発担当者から進捗状況を報告。直接意見交換**
- イノベーション、実用化・出口、相互連携に関する**プロジェクトの主意を共有化**へ

- 出口に向けた推進体制の強化: **企業をCoリーダーに**
- 大学・公設機関の役割明確化: **「出口を支える」+「拠点を構築する」**

(A) 樹脂・FRP領域の例(一部抜粋)

(一部ユニット再編・統合)



企業(濃紅色)

企業(濃紅色)

出口支える+マージ(拠点構築) => 役割明確化

革新的構造材料における運営体制の強化

【革新的構造材料】

研究の現場とマネジメント側の中に、領域ごとに連携コーディネータ、技術主幹を配置して研究進捗、知財管理、横断的な情報共有等を促進

